

CAR No.34&35

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2011/11/27

Albirex-RT

スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 5 戦

11月27日 予選・決勝

ロードコース 1 LAP=4.801km

天候：晴れ コース：ドライ 気温：13℃ 湿度：45%

ドライバー：清水清孝 (Albirex-RT GIA.Mot.ED #34)

板橋健幸 (Albirex-RT moty ビヨンド ED #35)

決勝結果：板橋選手 9位

清水選手 リタイヤ

### トラブルを乗り越え板橋選手は9位完走 清水選手はドライブシャフト破損により無念のリタイヤ

11月27日 予選

気温は6℃、路面温度も5℃と低く、タイヤが温まりにくい状況の中、予選開始。4周目で板橋選手のマシンにミッショントラブルが発生する。これによりギヤをセレクトすることができず、ほとんど走ることができないまま走行終了となり、板橋選手は12番手に沈む。

清水選手はトラブルもなく走り続けたものの、この日用意したニュータイヤの感触をつかむことができず、タイムがなかなか伸びない。結果清水選手は8番手となり、今年最後の決勝レースを迎える。

11月27日 決勝

予選でマシンにミッショントラブルを抱えてしまった板橋選手だが、無事に修復して決勝スタート。清水選手、板橋選手両者とも無難にスタートを決め、順調に周回を重ねていく。

しかし、5周目の90°コーナーで清水選手が接触によりスピン、最後尾に落ちてしまう。その周は走行することができたものの、次の周で接触した箇所のドライブシャフトが破損。駆動力を失い、リタイヤせざるを得なくなってしまった。

板橋選手はラップタイムで自己ベストをマークしながら着実に走り続け、徐々にポジションを上げていく。レース終盤には8番手をあと1歩のところまで追い詰めるが、順位を

上げることはかなわず、9位で今季最終戦を終えた。

○清水選手コメント

最終戦ということで気合を入れて望みましたが、リタイヤという結果になってしまって本当に悔しいです。今年の実験を生かして、来年に繋げていきたいです。最後に、今年1年サポートしていただきありがとうございました。

○板橋選手コメント

予選ではマシントラブルに遭ってしまいましたが、決勝では何台かパスしてベストラップも記録できたので、来季に向け良い感触をつかんだと思います。チームのみなさんには1年間サポートしていただきありがとうございました。

○中村監督コメント

今回は2台ともトラブルに見舞われ、非常に残念な結果となってしまいました。今年度もてぎシリーズは入賞を1回達成しましたが、まだ上位とは差があるので、この差を詰められるよう、更なる努力をまいります。

 Nankai Plan Co.,Ltd.

